

皆様の声をお寄せください！

さいたま市議会議員

吉田ひとし

さわやか通信

KOMEITO
公明党

Vol.

21

2017. 秋

さいたま市議会議員団

「長寿応援部」設置が実現！～保健福祉局内～

平成 29 年 11 月 1 日付、組織改正で保健福祉局に、「長寿応援部」が設置されました。

地域包括ケアシステムの一層の深化・推進を図り、誰もが生涯活躍できる「健幸長寿社会さいたま市」を創造できるように、長寿応援施策を総合的、計画的かつ効率的に推進するための組織改正です。

「長寿応援部」の設置は、本格的な長寿社会の到来に伴い、地域包括ケアシステム構築、セカンドライフ支援、移動手段・住まいの確保等、市民ニーズに適切に対応していくためには、従来型の高齢福祉政策からの転換が求められていること。そして、シニア世代の活躍と元気を応援するなど、新たな高齢者施策を推進するために、私が議会で初めて提案（平成 26 年 12 月定例会）。公明党さいたま市議会議員団として、継続して提言してきました。この組織改正によって、高齢者施策の充実が期待されます。



＝さいたま市議会 9 月定例会報告＝ 決算審査の主な提案



さいたま市議会 9 月定例会が、9/6～10/20 の会期で開催されました。今定例会では、所属する総合政策委員会で、議案・請願審査を行うとともに、議案外質問では、「市内企業の育成と入札制度」「避難所と避難計画の充実」をテーマに質疑を行いました。また、決算特別委員会の委員として、平成 28 年度さいたま市一般会計・特別会計歳入歳出決算、水道事業会計・下水道事業会計の審査を行い、賛成多数で認定しました。病院事業会計については、継続審査となりました。

● 公有財産の適正な利活用を！

本市の公有財産は、台帳管理の一元化がなされているが、維持管理費等については、市全体では把握ができていないことが確認されました。市民の大切な資産であることを踏まえて、長く放置され維持コストが増大しないよう、積極的な利活用を図るべきであり、公有財産全体をマネジメントする体制づくりや財産処分のルールづくりを提言しました。

● 空き家の適正管理へ取り組み強化を！

本市の特定空き家は、約 40 件に及ぶことが確認されました。市は、国の特措法や条例により、助言・指導・勧告・命令・公表ができるが、勧告まで実施した事例は僅か 1 件であり、不十分な対応となっていることから、地域住民の不安を払拭し、空き家対策の推進への予算確保や人員配置について提言しました。